

6 日本経済の動向 Developments in the Japanese Economy

(1) 景気の変化 Change of the Economic Condition

		景 気 Business cycle	主な出来事 Incident	実質経済 成長率 (%) Real GDP Growth	消費者 物価指数 (前年比 %) Consumer Price Index (Changes from previous year)	公定歩合 (年末値) (年率 %) Central bank discount rate (end of year)
1966	41	40 年 10 月～45 年 7 月 (いざなぎ景気)		10.0	5.1	5.48
67	42			10.4	4.0	5.84
68	43			8.5	5.3	5.84
69	44			10.3	5.2	6.25
1970	45	46 年 12 月～48 年 11 月 (好 況)	1971.12. スミソニアン体制	7.4	7.7	6.00
71	46			5.5	6.3	4.75
72	47			9.0	4.9	4.25
73	48			8.8	11.7	9.00
74	49	50 年 3 月～52 年 1 月 (好 況)	1975.11. 第 1 回サミット (ランブイエ)	▲ 0.1	23.2	9.00
75	50			4.4	11.7	6.50
76	51			2.9	9.4	6.50
77	52			4.0	8.1	4.25
78	53	52 年 10 月～55 年 2 月 (好 況)	1979.11. 第 2 次石油危機	5.3	4.2	3.50
79	54			6.5	3.7	6.25
1980	55			1.1	7.7	7.25
81	56			2.9	4.9	5.50
82	57	58 年 2 月～60 年 6 月 (好 況)	1985.9. G5 ブラザ合意	2.8	2.8	5.50
83	58			1.6	1.9	5.00
84	59			3.1	2.3	5.00
85	60			5.1	2.0	5.00
86	61	61 年 11 月～平 3 年 2 月 (好 況)		3.0	0.6	3.00
87	62			3.8	0.1	2.50
88	63			6.8	0.7	2.50
89	平成元			5.3	2.3	4.25
1990	2	5 年 10 月～9 年 5 月 (好 況)	1990.8. イラクのクウェート侵攻 1991.1. 湾岸戦争勃発	5.2	3.1	6.00
91	3			3.4	3.3	4.50
92	4			1.0	1.6	3.25
93	5			0.2	1.3	1.75
94	6	11 年 1 月～12 年 11 月 (好 況)	1993.12. ガットウルグアイラウンド交渉妥結 1997.7. アジア通貨・金融危機発生	1.1	0.7	1.75
95	7			1.9	▲ 0.1	0.50
96	8			2.6	0.1	0.50
97	9			1.6	1.8	0.50
98	10	14 年 1 月～19 年 10 月 (好 況)	2001.9. 米国同時多発テロ事件発生 2003.3. イラク戦争	▲ 2.0	0.6	0.50
99	11			▲ 0.1	▲ 0.3	0.50
2000	12			2.9	▲ 0.7	0.50
01	13			0.2	▲ 0.7	0.10
02	14	2006.7. 日銀、ゼロ金利解除 2007.8. 米国サブプライムローン危機勃発 2008.9. リーマン・ショック		0.3	▲ 0.9	0.10
03	15			1.4	▲ 0.3	0.10
04	16			2.7	0.0	0.10
05	17			1.9	▲ 0.3	0.10
06	18			2.0	0.3	0.40
07	19			2.4	0.0	0.75
08	20			▲ 1.2	1.4	0.30
09	21			▲ 5.0	▲ 1.4	0.30

Note: 1. 実質経済成長率は、80 年までは 68SNA、90 暦年基準、81 年以降は 93SNA、95 暦年基準、1995 年以降は連鎖方式による

Real GDP growth was calculated by the SNA68 on the 1990 calendar-year basis until 1980; by the SNA93 on the 1995 calendar-year basis in and after 1981; and by the chain method in and after 1995.

2. 消費者物価指数は、71 年以降は 05 年暦年基準、それ以前は 00 年暦年基準

Consumer Price Index is on the 2000 calendar-year basis until 1970, and on the 2005 calendar-year basis in and after 1971.

Source: 内閣府 資料 (旧経済企画庁「国民経済計算年報」、旧総務庁「消費者物価指数年報」含む)、日本銀行「物価指数月報」「経済統計年報」等より作成

Compiled from data available from the Cabinet Office (including the ex-Economic Planning Agency's "Annual Report on National Accounts and the ex-Management and Coordination Agency's "Annual Report on the Consumer Price Index"), BOJ's "Price Indexes Monthly" and "Economic Statistics Annual," etc.

(2) 基調判断の変化 Assessment of the Current State of the Economy

報告月	該当月	基調判断	輸出	輸入
2008年 4月	2月	景気回復は、このところ足踏み状態にある。	緩やかに増加している。	横ばいとなっている。
	5月	//	伸びが鈍化している。	//
	6月	景気回復は足踏み状態にあるが、このところ一部に弱い動きがみられる。	このところ弱含んでいる。	//
	7月	//	//	//
	8月	景気は、このところ弱含んでいる。	緩やかに減少している。	弱含んでいる。
	9月	//	減少している。	//
	10月	景気は、弱まっている。	//	//
	11月	景気は、弱まっている。さらに、世界経済が一段と減速するなかで、下押し圧力が急速に高まっている。	極めて大幅に減少している。	緩やかに減少している。
	12月	景気は、悪化している。	//	減少している。
2009年 1月	11月	景気は、急速に悪化している。	//	//
	2月	景気は、急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。	大幅に減少している。	//
	3月	//	下げ止まりつつある。	//
	4月	//	持ち直しの動きがみられる。	緩やかに減少している。
	5月	景気は、厳しい状況にあるものの、このところ悪化のテンポが緩やかになっている。	持ち直している。	下げ止まりつつある。
	6月	景気は、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる。	//	持ち直しの動きがみられる。
	7月	景気は、厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。	//	下げ止まりつつある。
	8月	//	//	持ち直しの動きがみられる。
	9月	景気は、失業率が過去最高になるなど厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。	//	//
	10月	景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。	アジア向けを中心に、増加している。	持ち直している。
	11月	景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。	//	//
	12月	//	//	//

Source: 内閣府 月例経済報告より作成

Compiled from Cabinet Office Government of Japan's Monthly Economic Report.